読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-62

意見文（反論と 主張）

ふつう ★★☆ ・ 反論と それへの 答え ・ 1まいめ

「たしかに」を さがそう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

わたしは、小学生のうちから、自分の考えを文章に書く習慣をつけるべきだと考える。

書くことで、頭の中のぼんやりした考えが、はっきりした形になる。また、書いたものは後で読み返せるので、自分の考えの変化にも気づける。

「書くのは時間がかかるから、話すほうがよい。」という意見もあるだろう。たしかに、話すほうが早く伝えられる場面は多い。しかし、話した言葉はその場で消えてしまう。考えを深めたり見直したりするには、書くことが向いている。

一日五分でもよい。ノートに自分の考えを書くことから始めてみてはどうだろうか。

1 文章から 書きぬこう。

1 筆者の 主張（「自分の」から「べきだ」まで）。（20字）

2 予想される 反論（「」の中）。（21字）

できたら はなまる

つぎまる プリント

どっかい ・ つぎは 「詩」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-62

意見文（反論と 主張）

ふつう ★★☆ ・ 反論と それへの 答え ・ 2まいめ

「たしかに」を さがそう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

一まいめの 文章を 見て 答えよう。

2 合う ものを 選ぼう。

3 反論に 対する 筆者の 答えは？

㋐ 書くのに 時間は かからない

㋑ 書けば 考えを 深めたり 見直したり できる

㋒ 話す ほうが いつも よい

4 「たしかに～。しかし～。」の 書き方の 効果は？

㋐ 話題を 変える　㋑ 主張を あいまいに する

㋒ 反対の 意見も 認めて、自分の 考えを 強める

できたら はなまる

つぎまる プリント

どっかい ・ つぎは 「詩」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）